

安全データシート（SDS）

[SDS No. 1-6]

1 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名

エレファクスエッチ液
Fエッチ液

会社情報

会社名

岩通ケミカルクロス株式会社

担当部署

営業部

住所

〒168-8501 東京都杉並区久我山 1-7-41

電話番号

03-5370-5279

Fax 番号

03-5370-5494

電子メールアドレス

icc_sales@iwatsu.co.jp

緊急連絡電話番号

03-5370-5279

推奨用途及び使用上の制限

エッチ液

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

区分に該当しないまたは分類できない。

健康に対する有害性

区分に該当しないまたは分類できない。

環境に対する有害性

区分に該当しないまたは分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示

なし

注意喚起語

なし

危険有害性情報

なし

注意書き

[安全対策]

取扱い後はよく手をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

[応急処置]

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

無理に吐かせないこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

[保管（貯蔵）]

直射日光を避け、容器を密閉して換気の良い冷暗所で保管すること。

[廃棄]

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性

情報なし

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物
組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示 整理番号	濃度又は濃度範囲 (wt%)
フィチン酸	83-86-3	(3)-2516	1.0-10
アジピン酸	124-04-9	(2)-858	1.0-10
有機酸	あり	あり	1.0-10
水	7732-18-5	—	80-90

4 応急措置

ばく露経路による応急措置

- 吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。
症状が続く場合には、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 大量の水で洗うこと。
症状が続く場合には、医師に連絡すること。
- 眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて
容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
症状が続く場合には、医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 口をすすぐこと。その後、気分が悪い時は、直ちに医師に連絡する
こと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

データなし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5 火災時の措置

適切な消火剤

本製品自体は不燃性である。

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂等。

使ってはならない消火剤

直接の棒状注水。

(本品があふれ出て、生物に対する有害性や環境汚染を引き起こすおそれがある。)

火災時の特有の危険有害性

本製品自体は不燃性であるが、加熱されると分解して、刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生
するおそれがある。

特有の消火方法

火災場所の周辺に関係者以外の立ち入りを規制する。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

環境に影響を出さないよう、できるだけ流出を防止する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

吸入性粉塵やヒュームがある場合は、自給式呼吸器と粉塵不浸透性の保護服を着用すること。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業者は適切な保護具（「8 ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

関係者以外の立入りを禁止する。

環境に対する注意事項

漏出物が河川などに排出されないよう注意する。

環境中に放出してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項 使用前に使用説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み、理解するまで取扱わないこと。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。

接触回避 「10.安定性及び反応性」を参照。

衛生対策 取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

保管

安全な保管条件 直射日光を避け保管冷暗所に密閉して保管する。

安全な容器包装材料 破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度 設定されていない

許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）

日本産業衛生学会 設定されていない

ACGIH TLV-TWA 5mg/m3（アジピン酸）

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。

蒸気、ガスなどが発生する場合、換気装置を設置する。

ばく露を防止するため、装置の密閉化、局所排気装置又は全体換気装置を設置すること。

保護具

呼吸用保護具	呼吸用保護具（防じんマスク）を着用する。
手の保護具	保護手袋（ニトリル製、塩化ビニル製）を着用する。
目の保護具	保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）を着用する。
皮膚及び身体の保護具	長袖作業衣を着用する。 必要に応じて保護面、保護長靴、保護エプロン等を着用する。

特別な注意事項

適切な容姿で作業を実施する。
作業場のリスクアセスメント実施が望ましい。

9 物理的及び化学的性質

物理化学的状态	物理状态	液体
	色	淡橙色透明
	臭い	特異臭
融点・凝固点		情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲		情報なし
可燃性		情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		情報なし
引火点		情報なし
自然発火点		情報なし
分解温度		情報なし
pH		4.3～4.5
動粘性率		情報なし
溶解度		水に任意の割合で混合
n-オクタノール／水分配係数（log 値）		情報なし
蒸気圧		情報なし
密度及び／又は相対密度		1.07～1.10
相対ガス密度		情報なし
粒子特性		情報なし
その他データ		情報なし

10 安定性及び反応性

反応性、 化学的安定性 危険有害反応可能性	通常の手扱い条件下では安定である。 一般的な貯蔵・取扱いにおいて安定である。 強酸と混合すると有毒なシアン化水素ガスが生成する懸念がある。
避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物	凍結。高温、直射日光を避ける。 強酸化剤、強酸、強アルカリ。 通常の使用では分解しない。 製品が極端な温度条件または化学的条件下で使用された場合には、シアン化水素、窒素酸化物、一酸化炭素が発生する可能性がある。

11 有害性情報

製品の有害性情報	情報なし
成分の有害性情報	
「アジピン酸」	
急性毒性（経口）	ラット LD50 > 11,000 mg/kg (PATTY (6th, 2012))
急性毒性（経皮）	ウサギ LD50 > 3,176 mg/kg (SIDS (2006)、HPVIS (2008))
急性毒性（吸入：気体）	分類できない。
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない。
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	ラット LC0(4時間)=7.7 mg/L (SIDS (2006))
皮膚腐食性・刺激性	ウサギを用いた皮膚刺激性試験において回復性の発赤や浮腫がみられ、刺激性スコア 2.21 であった。(SIDS (2006)) ウサギやモルモットを用いた皮膚刺激性試験において軽度の刺激性が認められた。(SIDS (2006)、BUA 68 (1991))
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	ウサギを用いた眼刺激性試験 (OECD TG 405) において、角膜混濁(スコア 1~3) が認められている。(SIDS (2006)) 角膜反応、虹彩炎、結膜炎、結膜浮腫の平均スコアはそれぞれ 1.33、0.83、2、2 と報告されている。(SIDS (2006))
皮膚感作性	分類できない。
生殖細胞変異原性	分類できない。
発がん性	分類できない。
生殖毒性	分類できない。
生殖毒性・授乳影響	分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	ヒトでは、本物質のダストの作業者への吸入ばく露で自律神経系、胃腸管、上部気道粘膜の機能障害、鼻粘膜の刺激、本物質の溶液の吸入ばく露でぜんそく反応悪化、呼吸器の軽いしゃく熱感が報告されている。(ACGIH (7th, 2001)、SIDS (2006)、PATTY (6th, 2012)) ラットでは、経口経路のガイダンス値を上回る用量で、死亡動物の急性心拡張、腺胃の急性うっ血・充血、潰瘍(腐食性胃炎)など、本物質による刺激と出血の影響がみられているが、吸入経路及び閉塞経皮適用では毒性兆候がみられなかった。(SIDS (2006)、HPVIS (2008))
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない。
誤えん有害性	分類できない。

12 環境影響情報**製品の環境影響情報**

生態毒性	水生環境有害性（短期/急性）	情報なし
	水生環境有害性（長期/慢性）	情報なし
残留性・分解性		情報なし
生体蓄積性		情報なし
土壌中の移動性		情報なし
オゾン層への有害性		情報なし

13 廃棄上の注意**残余廃棄物**

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14 輸送上の注意**国際規制**

国連番号	非該当
品名（国連輸送名）	非該当
国連分類	非該当
（輸送における危険有害性クラス）	
副次危険	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78 附属書II及び	非該当
IBC コードによるばら積み輸送 される液体物質	

国内規制

海上規制情報	非該当
航空規制情報	非該当
陸上規制情報	非該当
その他の安全対策	情報なし

特別な安全上の対策

運搬に際しては、容器の破損、腐食、漏れの無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

その他（一般的）注意

情報なし

緊急時応急措置指針番号

非該当

15 適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物 政令番号10号「アジピン酸」
化学物質排出把握管理促進 法（P R T R法）	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
労働基準法	非該当
化審法	非該当
消防法	非該当
大気汚染防止法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
水道法	非該当
下水道法	非該当
海洋汚染防止法	非該当
廃棄物の処理及び清掃に関 する法律	産業廃棄物（廃酸）

16 その他の情報

参考文献

NITE GHS 分類結果一覧

日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告

ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists TLVs and BEIs.

中央労働災害防止協会：職場のあんぜんサイト

その他関連する安全データシート

【注意】本 SDS は、JIS Z 7253:2019 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。本 SDS の記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更してください。また、注意事項等は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。